

# モリブデン 国際価格が一段高

## 1年3カ月ぶり、20ドル台後半

高張力鋼やステンレスの副原料となるモリブデンの国際価格が値を上げている。三酸化モリブデンの国際価格は先週から今週にかけ

て上昇、昨年8月以来となる20ドル台後半（純分価格）に突入した。最大の消費国・中国で買いが膨らんだほか、主原料の供給不足も相まって、市場ではタイト感が強まっている。

中国では先月、複数国のステンレスメーカーがフェロモリブデンの購入を拡大したのをきっかけに価格が上昇。フェロモリブデン価格はドル換算で50ドル強（純分価格）に達した。これにつれて、中国を含むアジア市場で三酸化モリブデンへの引き合いが急増している。原料となる二硫化モリブデンの供給が細まっていることも価格上昇に拍車をかけている。

チリや中国の鉱山では人手不足や品位低下などを背景に操業度が伸び悩み気味。慢性的な供給不安からモリブデンの需要が増加すると一気にタイト感が強まる構図となっている。

中国ではロックダウンが拡大しており、ステンレス向けの需要が今後も堅調に推移するかは不透明。ただ欧米を中心とした国際市場では、原料不足に起因したタイト感は解消されない見込みで、市場では「三酸化モリブデン価格は」当面、下がりにくい状況が続く」（アドバンストマテリアルジャパンの松村洋・合金鉄部部長）との見方が支配的。

